



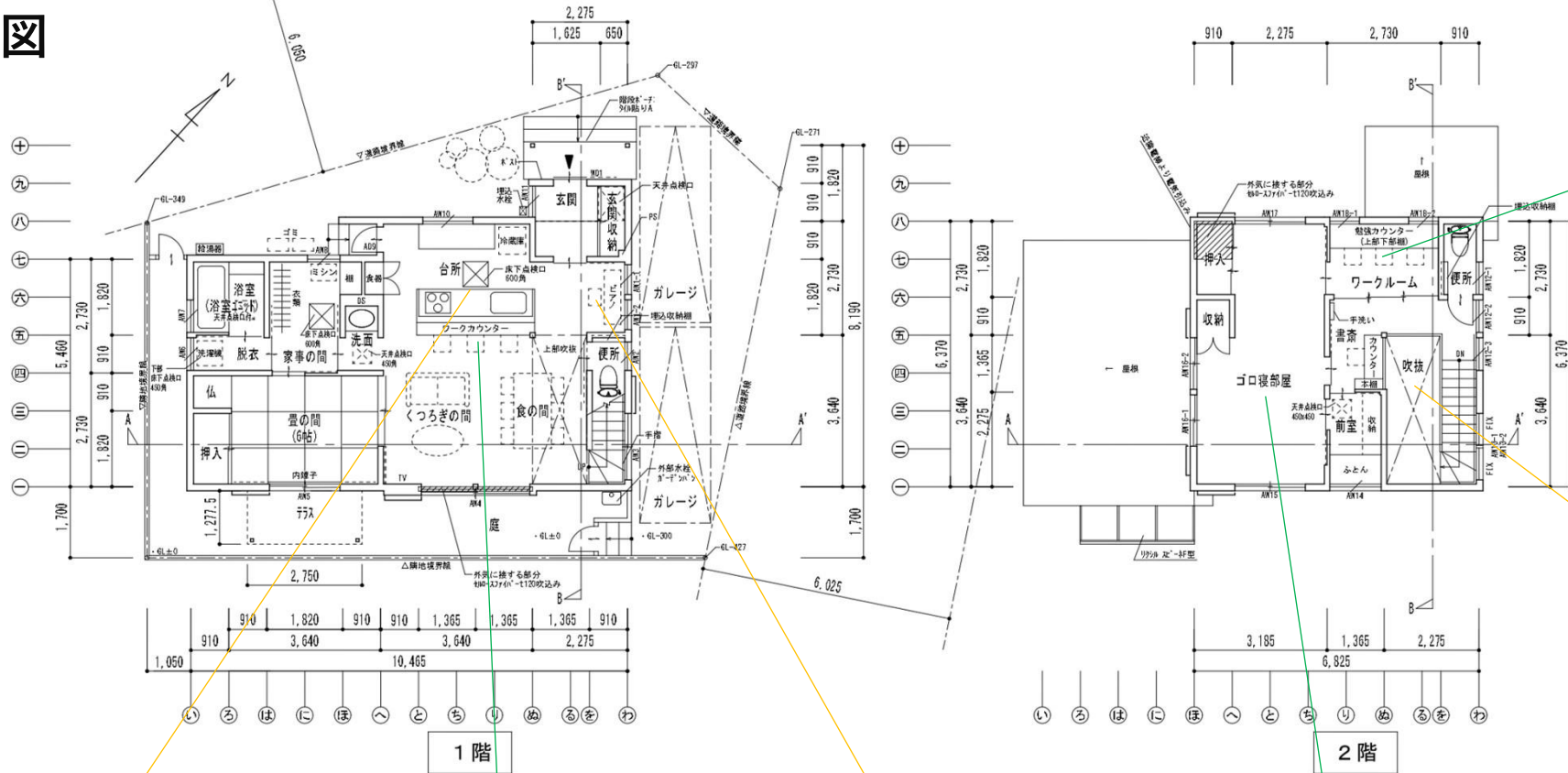
# 家族の絆を育む家



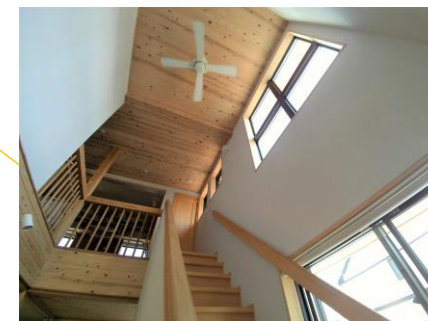
以前のお住まいは賃貸マンション。子供が騒いでまわりの住人に迷惑を掛けないか、借家のため傷や汚れが気になるなど日々ストレスを感じていた奥様といつかはマイホームを持ちたいと考えていたご主人。モデルハウスを見学したり、大手ビルダーや地域工務店を訪ねていく中で、木をたくさん使った家が良いと思いは定まっていた。1年程で好みの土地が見つかり、家づくりの大きな一歩が進む。顔と顔を合わせて会話をしたい、家族の雰囲気を感じたいという夫妻の考えを第一に、子供たちの勉強部屋をはじめ、寝室も共用として設計。吹き抜けは高窓から差し込む日光を居間へと届ける。また、1階にいても2階にいてもお互いの存在を感じられる“繋がる場”となった。今日もみんなの笑い声が響く。これからも家族の絆を育む家づくりを大切にしていきたい。



# 平面図



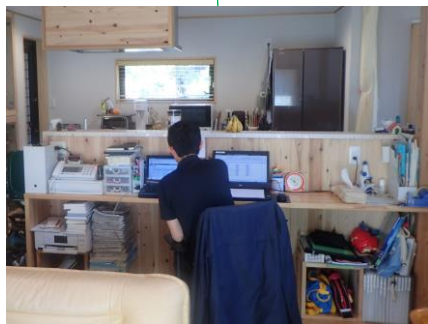
兄弟3人が仲良く並んで勉強できる。オープンスペースだが、集中したいときは扉を閉めれば個室になる。



高窓より朝日が差し込み、夜は月が見える。天井のファンで室内を気持ちよく整える。



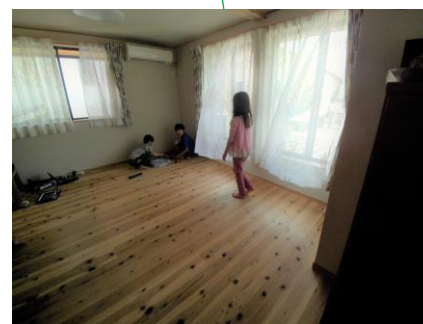
家族が集うくつろぎの間に向かう台所。キッチンから全体を見渡すことができ、自然と会話も弾む。



子供たちが宿題をする場所にと設けたワークカウンター。居心地が良く、気がつけばご主人の仕事場に。



娘とピアノを演奏したいという奥様のご希望で、キッチンの隣に専用スペースを設計。ここがこの家の入り口である。



家族5人が川の字で寝る“ゴロ寝部屋”は布団を片付けると、子供たちの広い遊び場。将来は間仕切り、子供部屋に。

